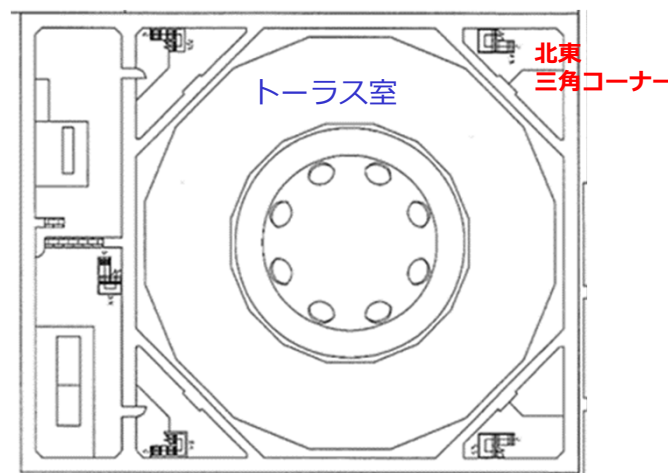
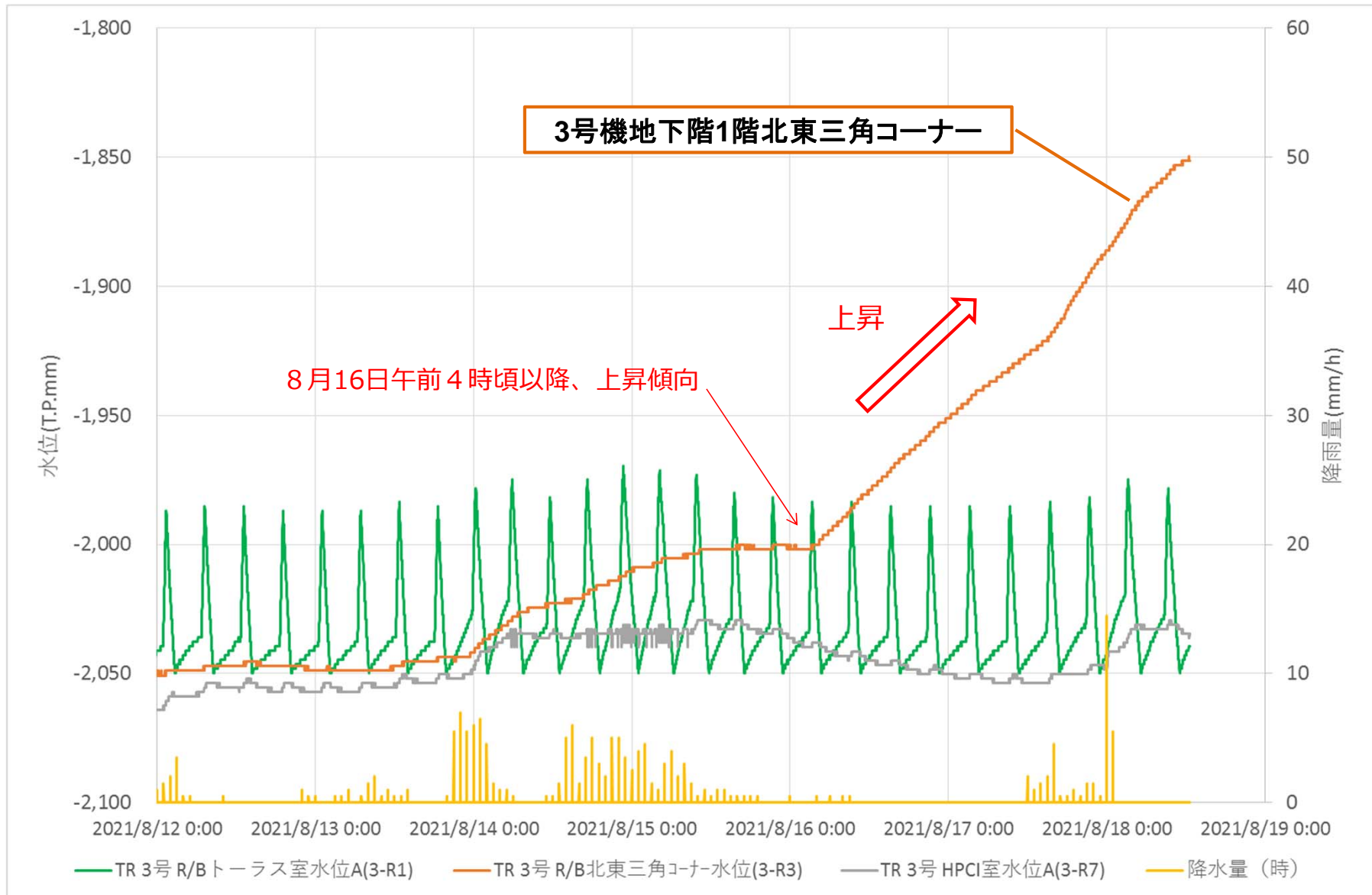


- 3号機原子炉建屋地下1階北東エリア（北東三角コーナー）において、8月16日より建屋滞留水水位の上昇傾向が継続していることから、明日（8月19日）、同エリアに仮設ポンプを設置する作業を実施する予定です。作業後は、設置したポンプにて滞留水をくみ上げ、原子炉建屋トラス室へ移送して、同エリアの水位を調整する予定です。
- 同エリアの水位については、降雨後における通常の緩やかな上昇傾向（約T.P.-2,000mm付近）で推移しておりましたが、8月16日午前4時頃以降、上昇傾向となり、本日（8月18日）午後0時時点で水位が約T.P.-1,850mmであることを確認しています。
- なお、近傍にあるサブドレンとの水位差は十分に確保しており外部への影響はありません。また、プラントパラメータ、モニタリングポスト・敷地境界ダストモニタ・構内排水路モニタ等に異常はありません。  
また、本日午前11時時点の3号機原子炉格納容器水位（水頭圧計算値）は約T.P.+9,500mmであり、有意な変動がないことを確認しております。
- 今後については、仮設ポンプにより、引き続き適切な水位を保ちつつ監視するとともに水位が上昇した原因について調査等を進めてまいります。

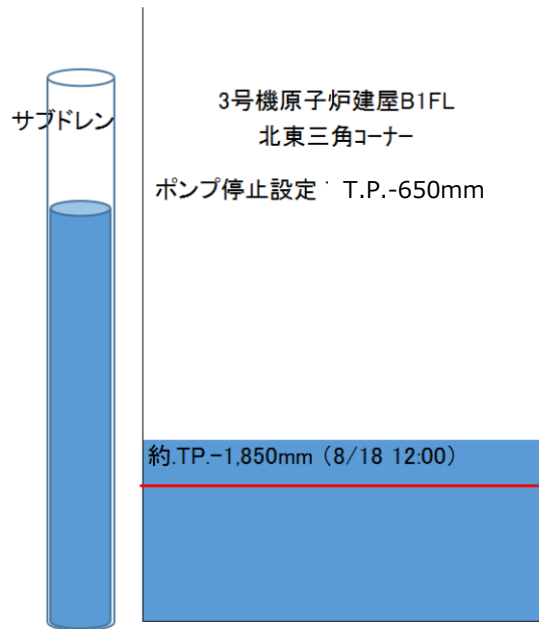
3号機原子炉建屋  
(地下1階平面図)



# (参考) 水位の状況



# (参考) 水位の状況等



3号機 平面図

